

日本共産党 ところざわ 市政ニュース

●日本共産党所沢市議会議員団
市役所控室 04-2998-9278
tokokyou@cotton.ocn.ne.jp
2025年1月12日 No. 429

12月議会 国保税大幅引き上げ 市議団と2会派反対

12月議会では、国民健康保険税（以下国保税）大幅引き上げの条例改正が提案されました。これまでの賦課方式から資産割（固定資産税で算定）と平等割（世帯割）を廃止し、所得割と均等割の2方式に変更します。廃止する2方式の課税額9億8千万円が、所得割・均等割りに加算されます。

国保税平均2万円も増税

医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分（40歳以上の者に課税）の所得割の税率がそれぞれ改定されます。また、均等割額（一人当たり）は、3万6300円↓7万4300円と約2倍になります。さらに、負荷限度額（最高額）が104万円↓106万円に2万円引き上げとなります。増税額の最高額は22万円、減税額は62万円です。



12月議会では、国民健康保険税（以下国保税）大幅引き上げの条例改正が提案されました。これまでの賦課方式から資産割（固定資産税で算定）と平等割（世帯割）を廃止し、所得割と均等割の2方式に変更します。廃止する2方式の課税額9億8千万円が、所得割・均等割りに加算されます。

モデルケースの試算では、40代夫婦子供2人で年間12万3000円増税（※資産割が無い場合+15000円）、70代1人世帯は45000円の増税（※+7500円）、65歳以上の夫婦は、1万57000円の増税（※+7500円）になります。

健康福祉常任委員会では、公明党・至誠自民クラブは「苦渋の判断」として賛成しました。採決では、共産党市議団・立憲リベラル・立憲れいわの3会派が反対討論を行い、8名の議員が反対しましたが、賛成多数で可決されました。

国保税は国が約半分近く補助していましたが、補助割合が減らされ、加入者の負担が増やされてきました。また、国が進める都道府県統一化方針のもと、市町村の財政からの繰り入れ廃止が求められている事も保険税引き上げの要因です。市議団は、あまりにも高い増

税、社会保障である国保税の増額は子育て支援に逆行すること、

国の補助金の増額・住民の福祉の増進を求め、反対しました。



ガバメントクラウド移行の遅れで費用は？

行政のデジタル化推進であるガバメントクラウドは、行政システムをクラウドサービスとして共同利用出来るようにしたIT基盤の事を指します。全国一斉に移行するため、システムベンダーに合わない事が分かりました。移行期間の2025年以降はデジタル補助金が交付されない懸念と、自治体独自のサービス構築が後退する可能性があり、個人情報保護の観点からも反対しました。

非課税世帯に3万円
18歳以下2万円給付

閣議決定を受け、物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯に対して、一世帯3万円が給付されます。また、世帯の18歳以下の子ども1人2万円（昨年12月13日までに誕生の方）も給付されます。全体の9割はプッシュ型で給付されるため、手続きは必要ありません。1月下旬に確認書が届いた方は、返送していただき、2月中旬以降に振り込めるように準備を進めるとの事です。

無料法律生活相談会

1月25日（土）
9時30分～11時30分
中央公民館学習室3号
小林善亮弁護士
30分予約制
連絡先 花岡議員
090-4610-9493

遺産相続・近隣トラブル
離婚・生活相談など
何でもご相談ください
主催 日本共産党所沢市議団

中井めぐみの議会報告

2025年があげましたが、昨年1月1日に起きた能登半島地震について考えざるをえません。なぜこんなに復興が遅れているのか？私が議員になる前、薬局で働いていた時、高齢者の医療費負担が1割から2割になり、ある患者さんが「これはもう政府から死ねと言われているもんだよ」という言葉を聞きました。能登の人からも「政府から見

放されている」という声もきます。いつまでも政府から見捨てられていると思う政治ではダメです。今年の参議院選挙で政治を変えて、希望ある日本になる2025年にしたいです。



ねすい

答弁でした。

「インターホンの設置について」

寿町に「男女共同参画支援センターふらっと」があることを「存じでしょうか？」相談事業や講座開催などで所沢市の男女共同参画社会を進める拠点です。しかし認知度が高くないのが現実です。歩道に看板をつけたら、「ジェンダーについてのおしゃべり会」や男性向けの気軽な講座を開催してはどうか、提案しました。講座についてはアンケート調査などを参考にするとの

「ところどころの停留所」

とところどころの停留所や増便のための運転手確保、ベンチについてなどを質問しました。その中で区画整理事業が進んでいる北秋津地区の交通空白地域にところどころの停留所を再検討はしていないのか確認しましたが、交通量が多いことと十分な歩行空間がないことから安全に乗降することが難しいとのことでした。しかし、調整池が作られた場所では乗降することが可能と考えます。今後

通学路に信号機設置を

北秋津・上安松土地地区画整理事業で進められているソコラ所沢西側交差点は北秋津小学校の通学路になっていますが、交通量が少ないため信号機が設置されていません。しかし多くの市民から心配の声が届いており、所沢市議会・城下県議と一緒に埼玉県警に信号機設置の申し入れをしました。所沢市も今後戸建て住宅やマンション建設で世帯数が増えることから交通量も増加する可能性があると考えているとのことでした。引き続き埼玉県警と連携をとって、一刻も早く設置して欲しいと要望しました。



プールが丸見え？

ソコラ所沢の道を挟んで向かい側にできるマンションは8階建てで、北秋津小学校を見下ろせる場所にできます。そして学校の東側にあるプールがマンションか

から見える状況で、ご家族から心配の声があります。そこで、学校としての対応を聞きましたが、今後どの程度影響があるのか確認し、高木の配置やプールのフェンスにパネルを設置するなど対応していくとのことでした。しかしこの対応は現在もされているので、十分な対応なのか検討していく必要があります。

手話通訳者を区民のために

災害時、所沢市では手話通訳者も「手話ができません」人も、同じ「手話ができません」と書いたバンダナをつけることになっています。そのため、聴覚障がい者の方達にはだれが手話通訳者なのかが見分けが付きません。そこで、手話通訳者に「ビブス（スポーツ選手が練習などで組み分けするために着るベスト）」を着てもらいたいという要望があります。しかし市としては「バンダナ」でやってもらいたい、と頑なでした。ただ、もし全ての指定避難所58か所に2枚のビブスを用意しても34万8千円とのことでした。災害時、手話が正しく伝わ

らないことで、不幸な事故が起る前に、当事者が希望する「ビブス」を市が用意することを期待します。

医ケア家族に響くことを

医ケア児のご家族が使っていた日中一時支援の利用時間を制限せざるを得ないという事業所が出てきました。日中一時支援でご家族は働いたり、いつもは我慢している医ケア児以外の兄弟のためだけに時間を使ったりなど、ごく普通の時間を作っていました。それが来年少からできなくなるのではないかと、ご家族が不安に駆られています。その状況を所沢市ではどう考えているのか、同じ生活ができるためにどうしたらいいのか聞きました。市としては法定サービスへの移行により、事業者、利用者双方がより安定的に制度を利用でき、医療的ケア児とご家族が安心して暮らしていくことが出来るように支援に努めていく、との回答でした。（「医ケア」…酸素吸入・たんの吸引などの医療的ケアが必要なこと）

